

20蟹土収 第525号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 殿

愛知県海部郡蟹江町長

横 江 淳



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成20年9月19日付 国道企第37号で依頼のありましたみだしの件について
別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

愛知県 蟹江町

高規格道路の整備が、地域社会の発展にもたらす効果は大きなものがある。

中部地区全般に目を向ければ、東海北陸自動車清見 IC～白川 IC の開通により東海・北陸地区がつながったものの、当地区においては、長年の計画の中で進められている東海北陸自動車道南伸事業(一宮西港道路)は尾西 IC(一宮西 JC)以南の進捗が滞ったままである。

南部には名古屋港を有し、このスーパー中枢港湾と名神・東海北陸との接続を実現する東海北陸自動車道南伸事業は物流における時間短縮と、一般道の交通量低減・渋滞緩和に与える効果は計り知れない。

また、環状2号線では名古屋市東部地域での進捗は見られているが、当地域に隣接する西南部での進捗が遅れており、国道302号線では慢性的な渋滞が発生している。

積極的な高規格道路整備を進めていただき、地域社会の発展と、住民の暮らしやすい基盤整備に一層のご配慮を願いたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

東名阪自動車道・国道 1 号線等の道路に加え、近鉄名古屋本線・JR関西本線の 2 本の鉄道により、東西軸が形成され名古屋圏への交通手段は確保されている。

しかし、国道 1 号線や町内の県道では渋滞が発生し住民の日常生活をも脅かす状況が発生している。

一方、南北軸の主たるものは西尾張中央道のみであり、交通量は年々増加し日交通量も 4 万台を越える状況となっている。交通騒音や振動の発生、加えて渋滞を回避する車両の裏道への進入があとを絶たない。

○課題

西尾張中央道に代わる南北路線の整備

- ・日光川右岸堤防災道路の早期全線供用
- ・環状 2 号線西南部区間の早期整備

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

愛知県 蟹江町

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

愛知県 蟹江町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	日光川右岸堤防災道路事業	町内南北軸の新たな動線確保により、慢性化した既存道路での渋滞緩和が図られ、地域の発展に寄与する	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・防災・減災対策 日光大橋架替え事業	橋梁の耐震実施 震災発生時の輸送路確保	